事例No.	629
公表年度	H29
団体の属性	指定都市
団体名	福岡県北九州市

事例区分	公営企業

タグ	・（公営企業）水道事業 ・公共施設の集約化等

事例種類	広域化等

事例内容・タイトル

周辺水道事業者（香春町・岡垣町）への水道用水の供給

出典

地方公営企業の抜本的な改革等に係る先進・優良事例集

○ 事例名等

事例名	周辺水道事業者(香春町・岡垣町)への水道用水の供給
団体名	北九州市

《広域化等の類型及びその概要》

類型	施設の共同化
概要	周辺水道事業者が抱える原水水質の悪化等の課題に対して、北九州市が水道用水供給事業を行い、周辺水道事業者の安定給水を図るもの。

○団体・事業の概要

団体名	北九州市	香春町	岡垣町
行政区域内人口(人)	966,628	11,407	32,153
行政区域内面積(㎢)	492.0	44.5	48.6
事業区分	水道事業(用水供給)	水道事業(末端給水)	水道事業(末端給水)
供用開始年月日	平成23年4月1日	昭和32年10月31日	昭和37年5月1日
給水人口(人)	242,962	9,696	30,712
施設利用率(%)	77.7	78.1	79.2
有収率(%)	100.0	77.1	86.9
職員数(人)	8	10	7
営業費用(千円)	616,137	206,750	426,404
営業収益(千円)	578,668	185,905	449,976

※上記表中の「行政区域内人口」は、平成29年1月1日時点。「行政区域内面積」は、平成28年10月1日時点。それ以外の計数は、H29年3月末時点。

1. 取組の背景、検討を開始した契機・導入過程

(1)取組の背景

＜香春町＞

・香春町は、北九州市から技術協力を受けながら、未普及地区(採銅所地区)への水道施設の整備を進めていたが、必要となる安定水源の確保に相当の期間を要するため、給水開始に間に合わない見込みであった。

・そこで、北九州市に暫定分水を要請し、香春町が水源を確保するまでの期間、北九州市が水道用水を香春町に分水することになった。(分水期間:平成17年5月20日～平成29年3月31日)

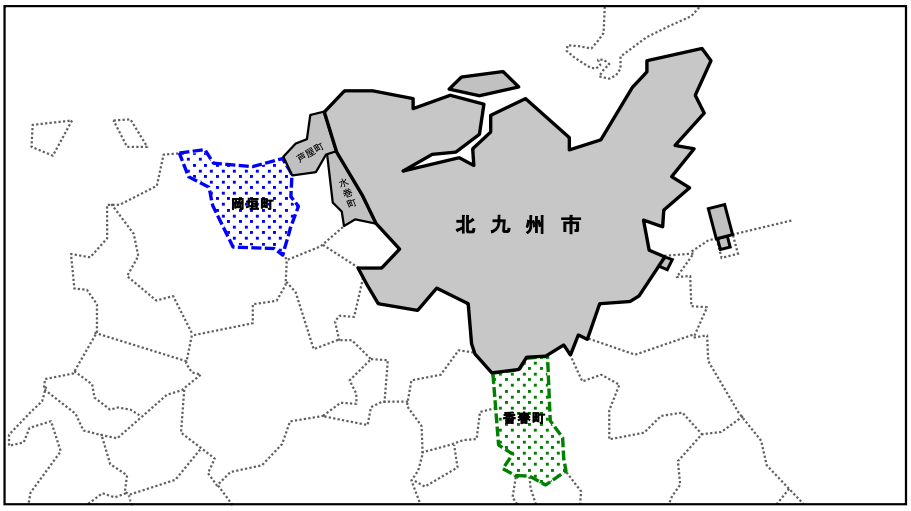
・分水開始後、香春町の唯一の浄水場において、原水水質の悪化等から大規模な断水を伴う事故が発生した。

・このため、香春町は、水道水の安定給水を図るための将来の水需給や施設の更新などを見据えた将来計画の策定を北九州市に依頼し、北九州市が策定した基本計画(3案)の中から、北九州市から一部水道用水の供給を受けることとしたもの。

＜岡垣町＞

・北九州市は、昭和58年に遠賀川河口堰の水源開発に伴い、当面の分水について岡垣町と「確認書」を締結した。

・その後、平成2年に岡垣町と分水に関する協定を締結し、岡垣町へ分水を開始した。



※芦屋町・水巻町は、北九州市と事業統合している。

(2)検討を開始した契機・導入過程

＜香春町＞

・平成22年、香春町の浦松浄水場で、原水水質の悪化等から大規模な断水を伴う事故が発生（安定給水に課題）
・平成23年10月、香春町水道事業の将来計画となる「水道事業基本計画」の策定依頼を香春町から受け、「香春町水道事業基本計画策定業務」を受託した。
・平成24年10月、北九州市から1日1,000立方メートルの供給する実施計画の策定依頼を香春町から受け、「香春町水道事業実施計画策定業務」を受託した。
・平成25年7月に、香春町から「水道用水供給に係る基本協定の締結について」の要望を受け、同年8月に「北九州市水道用供給事業の供給に関する基本協定」を締結した。
・平成25年10月に「北九州市水道用水供給事業」の事業変更認可を受けて、同年11月から施設整備に着手した。
・平成29年4月から香春町に給水を開始した。（分水の解消）

平成13年4月　「技術協力基本協定書」を締結

○ 水道整備計画に関する協定書（平成13年7月）
香春町の委託に基づき、香春町の水道施設整備に関する基本計画及び実施計画を策定

平成15年1月　香春町より「水道用水の分水について」の要望

採銅所地区の水質悪化により、早急な当該地区への水道の普及が急務（暫定分水の要望）

平成15年2月　「水道用水の分水に関する基本協定書」を締結

1日最大525立方メートル
分水期間：平成17年5月20日～平成23年3月31日（※平成29年3月31日まで延長）

平成22年　香春町で大規模な断水を伴う事故が発生

☆ 香春町の浄水場において、原水水質の悪化等の要因から安定給水に課題

平成23年10月　香春町より「技術協力の依頼について」の要望

○ 将来の水需給や施設の更新などを見据えた将来計画「香春町水道事業基本計画」の策定依頼
○ 受託協定書の締結（平成23年10月）
⇒「香春町水道事業基本計画（3案）」の策定
①浄水場の更新、②北九州市から一部水道用水を受水、③北九州市から全量水道用水を受水

平成24年10月　香春町より「供給水量の増量及び実施計画の策定について」の要望

☆基本計画の②案を踏まえた実施計画の策定依頼
○ 受託協定書の締結（平成24年11月）
⇒「香春町水道事業実施計画」の策定
○ 北九州市から1日1,000立方メートルの水道用水を受水するため、町内の配水ブロックを変更
○ 配水池や送水管などの施設整備　など

平成25年　7月　香春町より「水道用水に係る基本協定の締結について」の要望
平成25年　8月　「北九州市水道用水供給事業の供給に関する基本協定」の締結
平成25年10月　設置条例の一部改正　議決　（北九州市水道用水供給事業）
「北九州市水道用水供給事業」の事業変更認可

平成29年　4月　給水開始（分水の解消）

＜岡垣町＞
・この分水については、「水道法の施行について」（平成14年3月27日健水発0327001号厚生労働省水道課長通知）において、分水の解消が求められていた。
・本市は、平成19年に分水から水道用水供給への変更を協議していくため、岡垣町と「水道用水供給事業に関する協議書」を締結した。
・平成26年、岡垣町では開発行為に伴う給水区域の拡張や取水地区の変更に伴い水道事業の変更認可を実施することになったため、この変更認可に併せて、本市からの受水形態を分水から水道用水供給事業に変更したいと、岡垣町から本市へ依頼書が提出された。
・本市は、平成27年3月、給水対象に岡垣町を追加するため、「北九州市水道用水供給事業」の事業変更を届出て、翌月4月から岡垣町への分水を解消し、水道用水の供給を開始した（1日最大供給量2,000m³／日）。



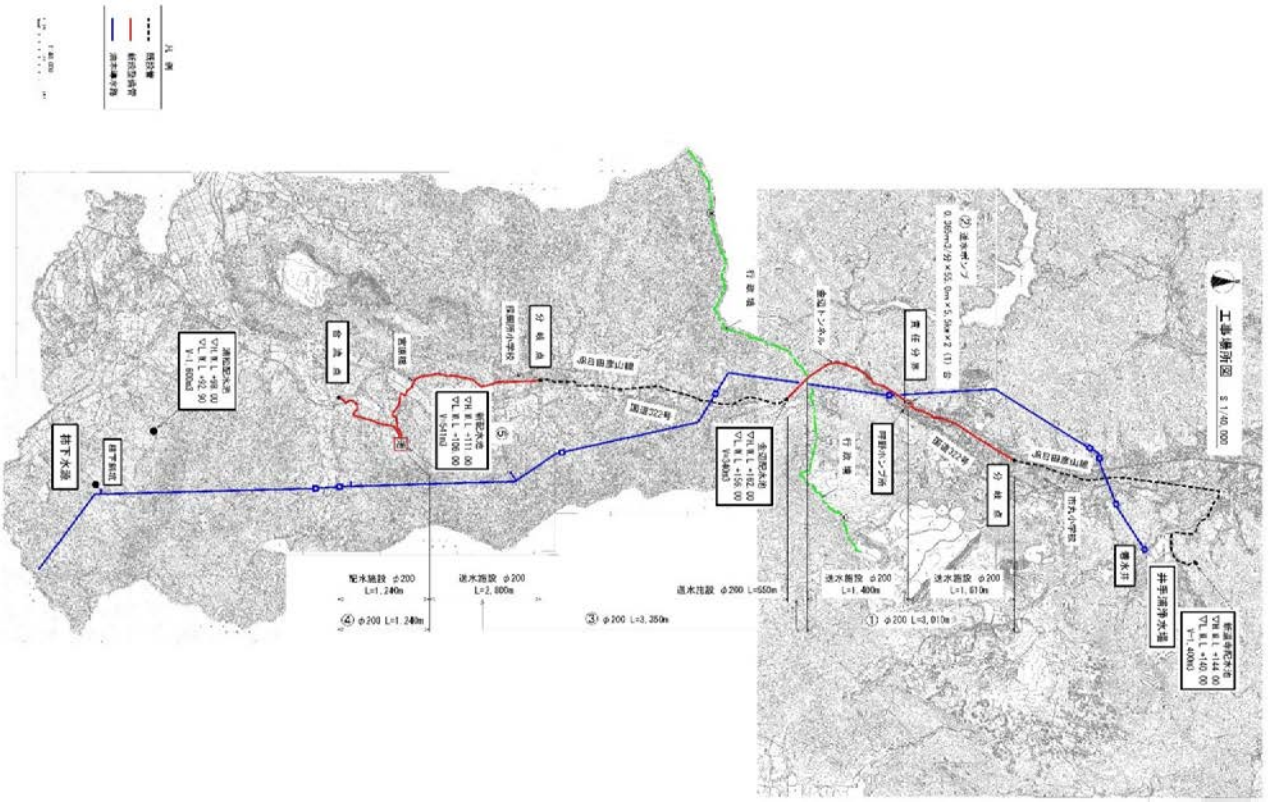
2. 取組の具体的内容とねらい、効果

(1)取組の具体的内容とねらい

＜香春町＞
・香春町では、平成22年に唯一の浄水場である浦松浄水場において、原水水質の悪化等から大規模な断水を伴う事故が発生し、安定給水に課題を抱えていた。
・香春町は、水道事業を開始して以来、町民に水道水を安定的に給水してきたが、水道施設の老朽化が進む中、将来的な水道水の安定給水を図るために、「香春町水道事業基本計画」の策定が必要と判断した。
・当該基本計画の策定に当たっては、高い技術力が必要であるとともに北九州市との連携も重要であるとし、北九州市に技術協力の依頼があった。
・北九州市が浄水場の更新などの基本計画（3案）を提示したところ、香春町は、北九州市から一日1,000 ㎥の供給を受けることが、将来にわたって安定給水を確保する上で最善であるとの結論に至ったため、北九州市に水道用水の供給を要望することになった。
・北九州市としては、北部福岡都市圏の中枢都市として、近隣の中小規模水道事業者を支援する役割を果たすことができること、暫定分水を解消することができることなどから、香春町に水道用水を供給することとしたもの。

＜事業内容＞
①事　業　名　　北九州市水道用水供給事業
②給水対象　　香春町
③1日最大給水量　1,000 ㎥
④給水開始日　　平成29年4月1日
⑤供給単価　　139 円／㎥（税込）　※H29年4月1日現在
⑥施設整備の概要
（北九州市内）　　（香春町域）

・水　　源　香春町の自己水源（地下水）を転用
・導水施設　既存の油木導水路（上水道施設）を活用
・浄水施設　既存の井手浦浄水場（上水道施設）にて浄水
・送水施設　送水管（約3km）、送水ポンプ2台を整備
・送水施設　送水管（約3.4km）を整備
・配水施設　配水池1池、
　　配水管（約1.2km）を整備



＜岡垣町＞
・岡垣町の水道水の安定給水を図るため、分水を解消し、水道用水供給事業の供給先に岡垣町を加え、本市から1日最大2,000m^{3}の水道水を供給する。なお、遠賀川河口堰に係る分水の『確認書』（昭和58年12月28日付）に定める1日最大分水量4,780m^{3}については、その効力を継続する。
（4,780m^3／日－2,000m^3／日（用供）＝2,780m^3／日：岡垣町への増量分として確保。）

＜事業内容＞
①事　業　名　　北九州市水道用水供給事業
②給水対象　　岡垣町
③1日最大給水量　2,000 ㎥
④給水開始日　　平成27年4月1日
⑤供給単価　　139 円／㎥（税込）　※H29年4月1日現在
⑥水道施設の概要
　岡垣町への供給は、全て分水で使用していた上水道施設を利用する。
　ア　水源　　遠賀川河口堰を使用
　イ　導水施設　上水道施設の猪熊取水場～本城浄水場導水管を利用
　ウ　浄水施設　上水道施設の本城浄水場にて浄水
　エ　送水施設　上水道施設の本城浄水場～岡垣町間送水管を利用

(2)効果
＜香春町＞
ア　香春町のメリット
　〇水道水の安定給水が図れる。（事故時配水量率（H22）：16.4%→31.3%）
　〇浦松浄水場の維持管理費が年間約130万円削減できる。

イ　北九州市のメリット
〇分水の解消が図れる。
〇北部福岡都市圏の中枢都市として、近隣の中小規模水道事業者を支援する役割を果たすことができる。
〇供給量の増加に伴い、増収が見込まれる。(一日最大給水量:525 ㎥ → 1,000 ㎥)
〇井手浦浄水場の施設稼働率が向上する。(H23年度比 ＋0.7%)

＜岡垣町＞
ア　岡垣町のメリット
〇水道水の安定給水が図れる。

イ　北九州市のメリット
〇分水の解消が図れる。
〇北部福岡都市圏の中枢都市として、近隣の中小規模水道事業者を支援する役割を果たす ことができる。

3. 他の自治体の参考となる点、今後の課題等

(1)他の自治体の参考となると考えられる点
＜香春町＞
・香春町とは、同町内を本市導水トンネルが通過していること、同町の就労者の約1割が本市に通勤していることなど関係が深かった。
・本市からの水道用水供給については、技術協力、暫定分水、緊急連絡管、水質検査の受託及び本市技術研修等への同町職員の受け入れなどを経て、実現に至ったものである。
このように、段階的に連携を強化してきた点が特徴である。

＜岡垣町＞
・岡垣町とは、暫定分水、緊急時の応援協定及び本市技術研修等への同町職員の受け入れなどを経て、実現に至ったものであり、香春町と同じく段階的に連携を強化してきた点が特徴である。

(2)今後の課題等
・香春町では、北九州市からの水道用水の受水を活用して、同町内の低水圧地区の安定給水を図る計画であったが、水圧の上昇に伴い、同地区で漏水が多発したため、本市からの供給量を調整している。
今後、同町の老朽管更新に合わせ、本市からの計画水量の受水により、さらに安定給水を向上させていく。

〇問合せ先

担当課	北九州市上下水道局総務経営部経営企画課		
TEL	093-582-3135	MAIL	sui-keiei@city.kitakyushu.lg.jp